

製品化事例

受託研究
技術相談

支援先

結城紬新商品開発専門委員会

変化組織による結城紬帯地の開発

【開発の背景】

結城紬は織機機構や産地規格、生地品質の安定性から伝統的に平織であり、織物のデザインは色糸の配色による縞や格子、くずし柄、また糸を部分的に染め分けた拵柄などで表現し商品展開を図ってきました。しかし近年結城紬の愛好者に対し、従来の製品に加えて新規性をPRできる商品開発が課題となっていました。

結城紬新商品開発委員会では新商品として、織物組織で柄をデザインする「変化組織による結城紬帯地」の開発を目指しており、変化組織による織物設計について依頼を受けました。

【支援内容】



(織物組織図の設計→織物シミュレーション・サンプル作製→企業試作支援)

図1 開発支援の流れ

繊維高分子研究所では、変化組織による結城紬帯地開発に向けて、①生産者向けの織物組織の勉強会、手紬糸での製織や企業の織機設備状況を考慮した織物組織図・織り方図の設計、②織物シミュレーション及び織物サンプル作製、③企業での製品試作時の織機調整等の技術支援を行いました。

【開発した製品の紹介】

企業で試作実施後、名古屋帯や半幅帯に展開し、販売を開始しています。

【問い合わせ先】 茨城県本場結城紬振興事業実行委員会（事務局：0296-33-2333）



図2 製品パンフレット

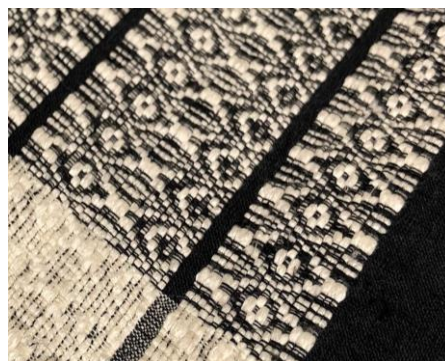


図3 開発製品（名古屋帯）

基礎となった事業

平成30年度 オンリーワン技術開発支援事業（受託研究）

平成30年度 試験研究指導費（技術相談）

現在の担当グループ

繊維・紬G

グループ長

篠塚 雅子

TEL:0296-33-4154

主任研究員

中野 睦子

嘱託

渡邊 直子